

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公開番号】特開2011-248123(P2011-248123A)

【公開日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-049

【出願番号】特願2010-121752(P2010-121752)

【国際特許分類】

G 0 2 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/00

G 0 2 B 7/02 D

G 0 2 B 5/00 B

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 5/225 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月14日(2013.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源手段と、前記光源手段からの光を被照射面に導く照明光学系と、  
前記被照射面に対象物を載置する標本ステージと、  
前記被照射面に載置された前記対象物の像を形成する撮像光学系と、  
前記撮像光学系の像面に配置された複数の撮像素子を含む撮像素子部と、  
前記撮像素子部において前記複数の撮像素子が配置されていない領域への光束の入射を  
 軽減する遮光手段と、  
 を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記遮光手段は、前記撮像素子部の光入射側、前記被照射面、又は、前記被照射面と共  
役な面、の少なくとも 1 つに配置されていることを特徴する請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記撮像光学系の光軸に直交する面内において、前記撮像素子部と前記遮光手段と前記  
被照射面との少なくとも 1 つの相対的位置を変えて、前記被照射面に載置された前記対象  
物を複数回撮像することにより得られた複数の画像を合成する画像処理手段と、該画像処  
理手段により処理された画像を表示する画像表示手段と、を有することを特徴とする請求  
 項 1 又は 2 の撮像装置。

【請求項 4】

前記画像処理手段により処理された前記画像を記憶する記憶手段を有することを特徴と  
 する請求項 3 の撮像装置。

【請求項 5】

前記遮光手段は、前記複数の撮像素子が光束を受光する有効受光領域に相当する領域に開口部が設けられており、該開口部以外の領域が遮光部である板形状より成ることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明の撮像装置は、光源手段と、前記光源手段からの光を被照射面に導く照明光学系と、前記被照射面に対象物を載置する標本ステージと、前記被照射面に載置された前記対象物の像を形成する撮像光学系と、前記撮像光学系の像面に配置された複数の撮像素子を含む撮像素子部と、前記撮像素子部において前記複数の撮像素子が配置されていない領域への光束の入射を軽減する遮光手段と、を有することを特徴としている。